

富山高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	美術	
科目基礎情報							
科目番号	0016		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	物質化学工学科		対象学年	1			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	教員が適宜資料を用意する						
担当教員	佐藤 未希						
到達目標							
美術の意義や本質を理論的に理解し、見る・感じる・考える・表す・伝えるという創造活動の基本的な能力を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	創造活動の基本概念を理解し、多角的な視点で物事を捉え、自分なりの表現を構築することができる。		創造活動の基本概念を理解し、自分なりに考え工夫し表現できる。		創造活動の基本概念を理解できず、自分なりに表現することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	美術を学ぶ意義は技術の習得に終始するものではない。芸術は人間の営為そのものであり、そうした本質的な視点を持つことが、創造的な生き方と豊かさの獲得につながる。美術の理論と実践を通して自らを取り巻く世界と向き合い、自分なりに解釈・理解し、関わっていく技能を身につけるとともに、アイデンティティの探求と形成を図ることが本授業の目的である。						
授業の進め方・方法	講義および演習						
注意点	試験は実施しない。 本科目では、50点以上の評価で単位を認定する。評価は作品およびコメントシート等の提出物を主とする。即ち、言語・非言語双方の表現力を問う。 課題提出が遅れる場合は必ず理由を明確にすること。作品の提出は単位修得に必須である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス		授業の概要を把握し、美術を学ぶ意義とその本質について理解できる。		
		2週	「つくる」ためのウォーミングアップ		発想のプロセスを読み解き、芸術表現の構造を理解できる。		
		3週	「つくる」ためのウォーミングアップ		素材の性質・特性を知ることによって芸術表現の物質的側面を理解し、その可能性を探ることができる。		
		4週	「見る」ためのトレーニング		私たちは何をどのようにして世界を「見る」のか。「ものの見方」について視覚心理学的視点を踏まえ、視覚芸術における空間表現を理解できる。		
		5週	「見る」ためのトレーニング		私たちは何をどのようにして世界を「見る」のか。立体・空間を観察し、平面に落とし込むことができる。		
		6週	具体と抽象のあわい		音を通して具体と抽象のあいだを往復し、イメージをかたちにすることができる。		
		7週	具体と抽象のあわい		言葉を通して具体と抽象のあいだを往復し、イメージをかたちにすることができる。		
	4thQ	8週	「わたし」を描く		「わたし」とは何か。作品制作に向け、自己の存在とその輪郭を考察することができる。		
		9週	「わたし」を描く		作品制作の具体的な構想を練ることができる。		
		10週	「わたし」を描く		各自が設定したねらいに基づき、表現方法を工夫しながら制作を進めることができる。		
		11週	「わたし」を描く		細部まで意識し、完成に向けた制作をおこなうことができる。		
		12週	プレゼンテーション準備		自己の表現を社会化させる過程において必要となるプレゼンテーションの重要性を理解し、具体的な準備をおこなうことができる。		
		13週	プレゼンテーション		作品を言語化して他者に説明できる。		
		14週	鑑賞とディスカッション		作品を通じた他者とのコミュニケーションの過程において、多様な考え方があることを理解するとともに、自身の表現を内省し、検証できる。		
		15週	成績評価・確認		成績評価・確認を実施する。		
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	80	0	0	20	100	
基礎的能力	0	80	0	0	20	100	

專門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0